

群馬の畜産 みんなの情報室

第353号

発行日
令和4年7月29日

発行:公益社団法人 群馬県畜産協会
〒379-2147 前橋市亀里町1310 群馬県JAビル 3階/TEL:027-220-2371 FAX:027-220-2372
ホームページ:https://chikusankyokai.or.jp



令和4年度に向けて

公益社団法人群馬県畜産協会
会長 唐澤 透

日頃から本会の運営並びに業務の推進につきまして、特段のご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

去る6月27日に開催しました第79回定時総会、並びに第49回理事会において、役員の任期満了に伴い新役員が選任されました。本県畜産業の健全な発展のため、新体制のもと決意を新たに、全力で諸課題に取り組む所存でございますので、宜しくお願い申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症が長期化し、緊急事態宣言等の影響により、本会では、家畜共進会をはじめとしたイベント、研修会等の多くが中止や縮小を余儀なくされました。

一方、肉牛農家への価格安定対策をはじめ、国の施策の柱である、畜産クラスター機械導入事業や和牛増頭事業などの生産者支援事業は、関係団体等のご協力により滞ることなく実施して参りました。

畜産を巡る情勢につきましては、豚熱対策、生乳需給の緩和などの問題のほか、世界的な飼料需給の高まりに加え、ウクライナ情勢の悪化、円安などが重なり、配合飼料をはじめ燃油や生産資材が高騰しており、非常に厳しい経営環境が続いています。こうした状況の中、畜産業の経営安定と畜産物の安定供給に対する本会の役割は、さらに重要になっていくものと思います。

本会としましては、本県農業の中核を担う家族経営体が、安心して生産活動が継続できるよう、時代の変化や直面する課題に対し、迅速に対応し、畜産経営の安定、及び安全・安心な畜産物の生産への支援に全力で取り組んで参る所存であります。

生産者をはじめ、関係機関・団体の皆様におかれましては、今後とも本会に対する特段のご支援・ご協力をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

目次

令和4年度に向けて	1	第26回群馬県畜産共進会の開催について	7
本会の役員が改選され新体制となりました	2	令和4年度牧場体験交流会について	8
令和3年度の事業実績及び財務が承認されました	2	本会職員のご紹介	8
第12回全国和牛能力共進会 群馬県代表牛が決定しました！	5	価格安定事業発動状況	9
乳牛の体型調査・牛群審査の実施と高得点牛の輩出	6	市況	9
第48回群馬県 BW ショウについて	6	令和元年度畜産海外事情研修(EU3か国)に参加して⑩	10
山羊登録巡回の様子	7	みんなで行こう！ケイバ！南関東4競馬場開催日程	12

本会の役員が改選され新体制となりました

去る、令和4年6月27日（月）に開催された「第79回定時総会」において、2年間の役員任期が終了したため、新たな役員が選出されました。また、定時総会後に開催されました第49回理事会において、役付理事が決定しました。新たな役員体制は次の通りです。

会長	唐澤 透	（県農協中央会・各連合会会長）	理事	馬場 悟	（JA 北群渋川代表理事組合長）
副会長	林 康夫	（県農業協同組合中央会副会長）	理事	松下 洋一	（県市長会課長）
副会長	砂長 伸司	（県農政部畜産課長）	理事	梅村 透	（県町村会事務局長）
専務理事	富田 孝	（学識経験者）	理事	横室 達弥	（県養豚協会常務理事）
理事	大澤 孝志	（全農県本部運営委員会副会長）	理事	都丸 高志	（県養鶏協会会長）
理事	品川 文隆	（県牛乳販連副会長）	理事	南 雄司	（県 JA 繁殖和牛部連絡協議会会長）
理事	中里 昌弘	（株式会社群馬県食肉卸売市場代表取締役社長）	監事	大塚 隆夫	（共済連県本部運営委員会副委員長）
理事	石田 信郎	（県農業共済組合専務理事）	監事	大久保 克美	（東毛酪農協代表理事組合長）
理事	矢内 功	（学識経験者）	監事	井上 義夫	（県家畜商商業協同組合理事長）
理事	萩原 一夫	（JA 赤城橋代表理事組合長）			

※会長1名、副会長2名、専務理事（業務執行理事）1名、理事12名、監事3名、計19名

【退任理事】山口 靖則、今井 勉、正田 吉一、堤 盛吉

令和3年度の事業実績及び財務が承認されました

去る、令和4年6月27日（月）に開催された「第79回定時総会」において、令和3年度に実施した事業の実績が承認されました。

1 令和3年度実施事業の概要

（1）概要

令和3年度においては、公益目的事業80事業、収益等事業14事業の合計94事業を実施しました。

新型コロナウイルス感染症のまん延、また、まん延防止対策等を踏まえて事業を実施したことから、令和2年度に引き続き、家畜共進会や各種イベントや研修会等の開催についてやむなく中止をせざるを得ない状況が続きました。

公益目的事業では、肉用牛では肉専用種、交雑種を中心に、肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）の交付金を交付、コロナ禍における肥育牛生産者の経営体質強化を図る奨励金交付事業や、地域の畜産経営への支援指導を行い、経営実績に基づく改善情報の提供、各種調査や畜産特別資金の指導事業を継続的に行ったほか、畜産クラスター事業の機械導入事業の県窓口として、クラスター計画に基づく導入申請等へのサポートやアドバイス、優良な経営管理技術を有する経営体の経営成果等の調査を行いました。また、畜産経営における人材確保と労働力の負担軽減を図るため、労働省力化を図る事業の実施、酪農ヘルパー組織の維持や要員確保、第三者経営継承に対する支援、傷病発生時等の酪農ヘルパー利用の相互扶助を図る互助会運営や、酪農ヘルパー利用組合相互の情報共有を図る連絡協議会の開催、産業動物獣医師として県内に勤務を希望する獣医学生に対し修学資金を給付したほか、畜産女性経営者を対象とした経営改善や経営管理能力の向上を図る全国研修会への参加を行いました。

生産農場における飼養衛生管理の向上や家畜の伝染性疾病的清浄化、疾病の発生予防に向けた自主淘汰支援やワクチン接種費用の負担軽減、家畜伝染病予防法に基づき殺処分された家畜の代替畜の導入費用の互助制度の普及啓発と事務手続き、防疫演習、牛白血病・マイコプラズマ乳房炎等の対策、自衛防疫団体等が実施する予防注射に必要な衛生資材等についての支払事務等を実施したほか、豚熱（CSF）への対策として、野生イノシシ経口ワクチンの散布により、豚熱ウイルスの拡散防止を図る対策協議会の運営、養豚の生産性を阻害する豚繁殖・呼吸障害症候群（PRRS）の発生低減・排除を図るための指導獣医師と連携した検査と指導、種鶏場等の衛生管理向上を図るサルモネラ検査等を実施したほか、馬の飼養衛生管理向上のための研修会等の開催、馬インフルエンザワクチン・馬鼻肺炎ワクチン接種の推進、農場 HACCP、畜産 GAP の構築支援や認証を推進する事業を実施しました。畜産、地方競馬振興への消費者の理解を促進するために、牧場体験や畜産普及啓発等、イベントにおける広報活動などについて実施を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の流行により、一部の事業にあっては、やむなく開催を中止しました。

家畜の改良成果を展示し優れた形質をもつ家畜を讃える共進会の開催を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の流行により、やむなく中止しました。さらに、関東地区ホルスタイン共進会は、新型コロナウイルス感染症の影響から主催者の判断により中止となりました。

また、和牛については、遺伝子検査によるゲノミック評価を活用し、早期の繁殖雌牛候補牛の能力把握を促進したほか、県内の高等登録牛の増頭促進、中核的担い手の優良繁殖雌牛の増頭奨励金の交付、畜産クラスター計画に基づく和牛の増頭奨励金の交付、育種価評価を解析し産肉能力向上を図る事業、乳牛、肉豚、緬山羊、養蜂の各畜種における生産振興に係る各種事業を実施しました。

本会の公益事業の実施を支える収益等事業では、和牛、乳牛、豚、山羊の各家畜の血統登録を積極的に推進したほか、県内生産者団体等からの事務を受託して、地域の畜産振興に努めました。

今後も新型コロナウイルス感染症の流行を注視しつつ、既存事業を継続して行うとともに、畜産を取り巻く中長期的な課題や実態を十分に踏まえて、飼養衛生管理、家畜衛生等を強化する事業に積極的に取り組むほか、国際化に対する畜産経営の確立と畜産経営の安定向上、及び安全で良質な畜産物の生産に貢献し、国民生活に不可欠な食料生産の安定的な供給に寄与して参ります。

◎実施事業内訳

() は補正時の事業数

会計区分	補助事業	助成事業	特別事業	受託事業	家畜登録	事務受託	自主事業	計
公益目的事業	公1(1)経営安定支援	2 (2)		4 (4)		1 (1)	1 (1)	8 (8)
	公1(2)経営向上支援	8 (8)	1 (1)	9 (9)			10 (10)	28 (28)
	公1(3)安全・理解	5 (5)	6 (6)	4 (3)			9 (9)	24 (23)
	公1(4)能力向上	7 (7)	5 (5)	2 (2)			6 (6)	20 (20)
	小計	22 (22)	6 (6)	19 (18)		1 (1)	26 (26)	80 (79)
収益等事業	収1(1)家畜登録				6 (6)			6 (6)
	他1(1)団体事務受託					8 (8)		8 (8)
	小計				6 (6)	8 (8)		14 (14)
合計	22 (22)	6 (6)	6 (6)	19 (18)	6 (6)	9 (9)	26 (26)	94 (93)

◎補助元等別実施事業内訳

() は補正時の事業数

補助元等	補助事業	助成事業	特別事業	受託事業	家畜登録	事務受託	自主事業	計
農林水産省	3 (3)							3 (3)
群馬県	9 (9)							9 (9)
農畜産業振興機構	7 (7)			2 (2)				9 (9)
地方競馬全国協会	1 (1)							1 (1)
家畜登録団体					6 (6)			6 (6)
中央畜産会	2 (2)	5 (5)		11 (10)				18 (17)
その他団体		1 (1)		5 (5)				6 (6)
事務受託先						8 (8)		8 (8)
その他			5 (5)	1 (1)			1 (1)	7 (7)
自己資金			1 (1)			1 (1)	25 (25)	27 (27)
合計	22 (22)	6 (6)	6 (6)	19 (18)	6 (6)	9 (9)	26 (26)	94 (93)

2 令和3年度の財務の概要

収支についてですが、令和3年度においては、補助事業22事業、助成事業6事業、特別事業6事業、受託事業19事業、家畜登録事業6事業、団体・生産者からの事務受託事業9事業、自主事業26事業の合計94事業を実施し、経常収益605,740千円、経常費用594,235千円、経常外収支を含めた他会計振替前当期一般正味財産増減額は11,504千円の増加となりました。

これを前年度と比較しますと、経常収益は2,317,970千円の減少、経常費用は2,319,302千円の減少となりました。これらの減少の主な理由は、農畜産業振興機構が実施する肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）の受取機構交付金の減少や、令和元年度に実施したアフリカ豚コレラ侵入防止緊急支援事業の繰越し実施分の終了等が主な要因です。

指定正味財産増減額については、前年度に比べ、510,134千円増加し、179,336千円となりました。これは、肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）の負担金徴収が通常の徴収に戻ったことによるものです。公益法人は、収益事業から得られる財産の増加を公益目的事業の実施に充て、さらに公益目的事業を拡大していくことを求められており、公益目的事業会計の一般正味財産額が減少した場合には、収益事業等会計からその収益の一部の振替を行って、埋め合わせをすることになります。令和3年度においても、定められた方法に従って振替を行い、公益目的事業の安定的な実施を図りました。

正味財産増減計算書

法人全体

公益社団法人 群馬県畜産協会

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	[1,374,585]	[1,028,122]	[346,463]
受取会費	[15,265,000]	[15,355,000]	[△ 90,000]
事業収益	[112,972,380]	[112,695,690]	[276,690]
受取補助金等	[356,464,392]	[2,473,130,822]	[△ 2,116,666,430]
受取助成金	[31,648,313]	[32,149,263]	[△ 500,950]
受取受託金	[27,687,149]	[25,669,213]	[2,017,936]
賦課金収益	[5,863,100]	[5,908,700]	[△ 45,600]
受取積立金	[3,320,000]	[887,000]	[2,433,000]
受取生産者負担金	[20,191,571]	[226,050,676]	[△ 205,859,105]
受取負担金	[28,148,070]	[28,017,506]	[130,564]
受取寄付金	[250,000]	[100,000]	[150,000]
雑収益	[2,555,801]	[2,718,744]	[△ 162,943]
経常収益計	605,740,361	2,923,710,736	△ 2,317,970,375
(2) 経常費用			
事業費	[587,575,315]	[2,908,418,727]	[△ 2,320,843,412]
管理費	[6,660,353]	[5,119,563]	[1,540,790]
経常費用計	594,235,668	2,913,538,290	△ 2,319,302,622
当期経常増減額	11,504,693	10,172,446	1,332,247
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受取補助金等	[0]	[82,451,553]	[△ 82,451,553]
受取積立金	[0]	[41,228,537]	[△ 41,228,537]
受取返還金	[11,157,137]	[8,995,880]	[2,161,257]
経常外収益計	11,157,137	132,675,970	△ 121,518,833
(2) 経常外費用			
支払返還金	[0]	[123,680,090]	[△ 123,680,090]
支払返還金	[11,157,137]	[8,995,880]	[2,161,257]
経常外費用計	11,157,137	132,675,970	△ 121,518,833
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	11,504,693	10,172,446	1,332,247
法人税、住民税及び事業税	3,354,500	3,456,400	△ 101,900
当期一般正味財産増減額	8,150,193	6,716,046	1,434,147
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	[15,271,000]	[15,270,374]	[626]
受取積立金	[7,635,500]	[7,376,400]	[259,100]
受取生産者負担金	[181,512,000]	[783,000]	[180,729,000]
受取負担金	[520,000]	[1,010,000]	[△ 490,000]
特定資産運用益	[971,146]	[878,519]	[92,627]
一般正味財産への振替額	[△ 26,573,352]	[△ 356,116,101]	[329,542,749]
当期指定正味財産増減額	179,336,294	△ 330,797,808	510,134,102
指定正味財産期首残高	1,231,948,175	1,562,745,983	△ 330,797,808
指定正味財産期末残高	1,411,284,469	1,231,948,175	179,336,294
III 正味財産期末残高	1,781,059,552	1,593,573,065	187,486,487

第12回全国和牛能力共進会 群馬県代表牛が決定しました！

令和4年10月6日～10日の5日間にわたり、公益社団法人全国和牛登録協会が主催する「第12回全国和牛能力共進会」が鹿児島県にて開催されます。その開催に先立ち、県内にて最終予選会を行い、種牛の部である第2区、3区、5区、特別区の代表牛が選抜されました。



第2区は出品牛が9頭と多く混戦でしたが、その中で最も種牛性と品位が素晴らしい武井さんの「たけい3の13」が代表に選ばれました。武井さんは前回の宮城全共にも続いて2大会連続での出品となります。

第3区は出品牛が5頭。その中で発育が良く伸びと幅、均称が優れた山田さんの「ばんだい1149」が代表に選ばれました。



第2区 代表牛「たけい3の13」 出品者：武井賢一さん 沼田市
引き手：武井洋太さん



第3区 代表牛「ばんだい1149」 出品者：山田弘之さん 太田市

第5区の高等登録群の出品は1組。八木原さんの群が代表となりました。高等登録群は、母、娘、孫娘の3代での出品の区です。代表となった母牛は10年前の長崎全共出品牛であり、2度目の全共出場となります。この血筋は体積、幅が素晴らしく、迫力のある群となっております。



第5区 代表牛「かみおき1126」(母)
出品者：八木原茂さん 前橋市



第5区 代表牛「かみおき1814」(娘)
出品者：八木原茂さん 前橋市



第5区 代表牛「かみおき2185」(孫娘)
出品者：八木原茂さん 前橋市

特別区の出品は1組。吾妻中央高校の「つむぎ」が代表となりました。吾妻中央高等学校は前回の全共でも出品経験があり、今回2度目の挑戦となります。「つむぎ」は発育良好で伸び幅に優れた牛です。

群馬県代表牛が決定し、今後出品者の方々は調教や手入れ等で大変忙しくなります。引き続き、皆様のご協力と応援をよろしくお願いいたします。



特別区 代表牛「つむぎ」 出品者：吾妻中央高等学校

肉牛の部の最終予選を開催します！

肉牛の部ですが、現在6農家、23頭の候補牛があり、8月3日、5日、8日の3日間で、関係機関の巡回審査により、最終予選会を実施いたします。

乳牛の体型調査・牛群審査の実施と高得点牛の輩出

5月23日から6月9日において、（一社）日本ホルスタイン登録協会による体型調査・牛群審査が本県で実施されました。

体型調査は50戸410頭、牛群審査は21戸261頭となり、例年と比較するとどちらも減少傾向ですが、85点以上のベリーグッド牛が163頭、90点以上のエクセレント牛が25頭という結果は、過去に類を見ないほどの高水準となりました。

なかでも、今回審査で新規に93点を獲得した（株）長坂牧場の牛をご紹介します。



名号 ラブリファーム SAB ドアソ イー マジ
 個体識別番号 0864410632、
 生年月日 H28.1.6、産次5産
 引き手:長坂将志さん

決定得点が高いだけでなく、1年1産を達成し、日々の乳量が平均40kgを超えるなど、生産性としても非常に高いものを持っている牛でした。

第48回群馬県 BW ショウについて

令和4年4月23日（土）に群馬県乳牛改良協会主催にて、第48回群馬県ブラックアンドホワイショウが、全農群馬渋川子牛市場敷地内で開催されました。審査委員には坪井泰憲氏（北海道 酪農家）に務めていただき、審査基準に基づいて審査が行われました。

出品数は、未経産牛15頭、経産牛35頭の合計50頭でした。審査の結果、最高位は T マミホッター サマー プリンセス（細野 孝之氏）でした。

今回の開催は、新型コロナ感染の影響にて3年ぶりとなりましたが、後援の諸団体をはじめ、実施に向けてご協力いただいた関係者の皆様のおかげで、無事開催できましたことに感謝申し上げます。

上位の結果は下記のとおりでした。

最高位

	T マミホッター サマー プリンセス	細野 孝之
--	--------------------	-------

グランドチャンピオン

ジュニア	アガチュー キヤブテン マックス クロス ヘブン	県立吾妻中央高校
インターミディエイト	T マミホッター サマー プリンセス	細野 孝之
シニア	OK タイガーウッズ ライオネル ET	遠坂 和仁

リザーブグランドチャンピオン

ジュニア	ジヤク ロッリッジ TMF クラッシュアブル インクス	齋藤 丈嗣
インターミディエイト	KCF イーストサイト チーフ ET	(有) KC 牧場
シニア	A.F.H ダイヤモンド パック D パイン	(株) 阿部牧場



山羊登録巡回について

令和4年度(登録巡回)：7月4日(月)、5日(火)、7日(木)、14日(木)、20日(水)、22日(金)に実施。
 ※登録巡回では【CAE血液検査】の採血のため、県家畜保健衛生所の職員にも同行をしていただいております。
 [CAE(山羊関節炎・脳炎):レトロウイルスであるCAEウイルス(CAEV)の感染によって起こる山羊の届出伝染病]

山羊登録の目的

山羊の登録目的は、祖畜からの血縁関係、能力やその潜在的素質、体型(外貌)、遺伝的特質、欠陥因子の有無などの記録を正確に後世に伝え、それを保存、利用することです。また、形質の改良と能力の向上を図るためにも利用しています。(愛玩や休耕地の雑草退治用として飼育される方の登録も増えています)

山羊登録のメリット

- ① 血統が証明できる。
- ② 優れた血統を残すことができる。
- ③ 遺伝的不良形質を未然に防ぐことができる。
- ④ 近親交配を防止できる。



山羊の登録(代表的なもの)

基礎登録	生後12か月未満で、産子登録の資格を持たないが、改良の基礎又は材料として認められたものの登録。
産子登録	登録山羊の間に生産された、生後12か月未満の山羊の登録。 ※純粋種として排除すべき著しい不良形質が現れていないもの
本登録	血統登録を受けたもの。父母の繁殖成績に異常を認めないもの。 生後15か月に達し、審査標準による審査の結果、体各部位の付点率が70%以上で、総得点が75点以上 雌は、泌乳能力の審査を受け、所定の乳量に達し、表示を受けたもの



第26回群馬県畜産共進会の開催について

家畜の改良増殖を図り畜産振興に寄与することを目的に、第26回群馬県畜産共進会を開催します。本共進会では、群馬県内の生産者が丹精を込めて育てた家畜(山羊・乳牛・和牛)を一同に集め、その理想的な体型を競います。農家同士が情報交換を行ったり、審査員の評価意見を聞いたりすることで、県内の家畜改良の現状を把握し、消費者ニーズにあった畜産物の生産に根差した畜産経営の健全な発展を目指します。
 本年度の開催内容(予定)は以下の通りです。

畜種	日時	場所
山羊の部	令和4年 9月 2日(金)	全国農業協同組合連合会群馬県本部 渋川家畜市場内
乳牛の部	令和4年 11月 2日(水)	群馬県畜産試験場内
繁殖和牛の部	令和4年 11月 4日(金)	//

※今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、今後開催予定事業も中止を決定させていただきます。
 詳細は本会HPをご覧ください。 <https://chikusankyokai.or.jp/>

令和4年度 牧場体験交流会の開催について

神津牧場 牧場体験交流会



神津牧場宿泊体験交流会を実施します。大自然の中で動物たちとふれあい、乳しぼりや子牛へのミルクやりなどを体験することができます。また、体験期間中にはジャージー牛の鉄板焼きやジャージー牛肉使用のハヤシライスなど、神津牧場ならではの美味しいご飯も食べられます。

● 開催日時：令和4年7月28日（木）～29日（金）

● 開催場所：公益財団法人神津牧場

● 概要（予定）

- ・動物とのふれあい
- ・乳しぼり体験
- ・えさやり体験
- ・バター作り
- ・夜の牧場探検 等



本会職員のご紹介

小林正幸と申します。この4月に入会しました。

前職とは仕事内容が大きく異なり、戸惑いながら日々過ごしておりますが、新たな発見がたくさんあり、勉強になることばかりです。

現在、群馬県家畜人工授精協会の団体事務局をはじめ、牛せき柱適正管理推進事業促進交付業務等を担当するほか、家畜登録や乳牛の体型調査・牛群検定、和牛子牛のセリ等に同行し、家畜の特徴を学ぶとともに畜産農家や関係団体との連携を図る場として大いに役立っております。今後も微力ではありますが、畜産協会の一員として貢献できるよう尽力したいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。



群馬の畜産 みんなの情報室をご覧のみなさま、こんにちは。令和4年3月末、畜産協会に入会しました和田香（ワダカオリ）と申します。

主に携わっている業務は、産業動物獣医師を志す学生を支援する獣医師養成確保修学資金給付事業、BSE 検査に関連した牛疾病検査円滑化推進対策事業、家畜防疫互助基金支援事業です。私の長所は集中力があること、短所は詰めが甘いことです。集中しすぎないように時間配分に気をつけること、何か忘れていないことは無いかと省みることに努めているところです。毎日発見があり、悩ましくも楽しく業務を遂行しております。どうぞよろしくお願いいたします。



遠藤さくらと申します。令和4年4月に入会しました。

現在の業務は、牧場体験の企画、馬の飼養衛生管理事業、地方競馬支援対策事業、畜産普及関係の事業等を担当しています。また、担当外の業務に同行させてもらい、様々な畜種の業務を経験させていただいています。

知識・経験ともに未熟ではありますが、周りをよく見て日々少しでも成長できるよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。



価格安定事業発動状況

■肉用子牛生産者補給金制度 補給金交付状況（令和4年度1月～6月）

区分				平均売買価格(円)					交付単価(円)				交付額(円)				
業対	年次	月次	期別	黒毛	褐毛	他肉	乳用	交雑	黒毛	褐毛	他肉	乳用	黒毛	褐毛	他肉	乳用	交雑
7	4	1～3	第4四半期	730,200	589,500	311,800	231,200	324,400	0	0	8,200	0	0	0	-	0	0
		4～6	第1四半期	668,500	553,100	-	210,000	293,300	0	0	-	0	0	0	-	0	0
		7～9	第2四半期														
		10～12	第3四半期														
		計		※他肉（その他肉専用種）はR2年度より算定期間が1年（4月～3月）となりました。													

■肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン） 交付金交付状況（令和4年4月期）

期間	品種区分	納付区分	支払区分	交付対象		交付金の額			交付日
				人数 (人)	頭数 (頭)	(円) (4/4)	交付金として 支払う額(3/4)	積立金から 支払われる額(1/4)	
4月期	乳用種	通常	概算払		131	4,265,187	3,198,886	1,066,301	概算払日 令和4年 6月28日
			精算払			0			
			計			4,265,187	3,198,886	1,066,301	
		猶予	概算払			0			
			精算払			0			
			計			0	0	0	
		計	概算払	8	131	4,265,187	3,198,886	1,066,301	
			精算払			0	0	0	
			計			4,265,187	3,198,886	1,066,301	

■肉用豚経営安定交付金制度（豚マルキン）

算出期間	令和4年4月から6月まで
肉豚1頭当たりの標準的販売価格	40,812 円/頭
肉豚1頭当たりの標準的生産費	38,724 円/頭
肉豚1頭当たりの交付金単価	—

市況

■和牛子牛市場成績【JA 全農ぐんま渋川家畜市場】

開催月	性別	取引頭数	高値(円)	安値(円)	平均価格(円)	平均体重(kg)	平均日齢(日)	Kg単価(円)
6	雌	117	965,800	338,800	606,805	289	292	2,095
	雄	1	413,600	413,600	413,600	325	307	1,272
	去勢	203	1,087,900	126,500	737,758	328	284	2,244
	合計	321	1,087,900	126,500	689,018	314	287	2,191

■乳用牛市場成績

開催月	畜種区分	授精区分	腹子品種	頭数（頭）	平均体重(kg)	平均価格(円)
5	未經産			44	283	166,182
	初妊	AI	ホルス	14	518	437,357
			交雑種	35	588	480,257
		ET	和牛	19	547	732,474
		IVF	IVF	3	583	638,333
	経産			37	584	372,243
		AI	ホルス	2	699	315,500
			交雑種	52	661	328,442
		ET	和牛	2	644	480,500
	合計			208	534	377,500

令和元年度畜産海外事情研修（EU3か国）に参加して ⑩

みなさん こんにちは！かれこれこの掲載も10回目を迎えました。
さて、今回は本研修の最終の地、オランダの2日目をお送りいたします。

令和元年10月2日（水）オランダ編（2日目）

結果、オランダ ヘルダーランド州のズトフェンには、9月30日から10月3日までの4泊しました。バスでの大移動をしている我々にとっては、1か所に落ち着いて宿泊し研修を受けられるのはとてもありがたく、Arch Joint Vision 社の池田さんのご配慮あっての後半戦でした。

前回、ズトフェンの紹介をさせていただきましたので、詳細は割愛させていただきます。



▲オランダ王国での動き

この日は、まず、市場調査を行いました。
冷蔵ケースの中でひととき目を引いたのが乳製品の冷蔵ケースです。

牛乳の価格は、1リットルから1.5リットルで1～2ユーロ（当時の日本円で120円から240円）生乳から機能性牛乳まで幅広い種類が販売されていました。生産者からの買取乳価が1リットルあたり42円程度だということでしたので、加工、流通が得る利益が日本より大きいことが分かりました。



▲牛乳の棚

一般流通するチーズの種類が大変豊富で、ハード系からカッテージ、クリーム系と選ぶのに困るほどの種類でした。

バターは200グラムのもものが中心で、およそ2～3ユーロ（当時の日本円で240～360円程度）と日本よりも安い印象です。

高額な印象を受けたのは鶏卵でしたほとんどがBIO認証を受けている鶏卵で、10個入りで3～4ユーロ（当時の日本円で360～480円）



▲緑の値札のついた精肉



▲種類豊富なチーズ

緑の値札がBIO認証を受けている精肉です。
非認証と価格的には3～4ユーロ（当時の日本円で360～480円）で、内容を調節して購入しやすくしている印象でした。また、牛肉と豚肉ではグラム単価はほとんど変わりません。

オランダも、ソーセージを食す国で、スライスされたソーセージの種類が大変豊富でした。

こうやって、その国のスーパーマーケットから、畜産物の消費動向を見て見るのは大変興味深いものがあります。

その後、場所を移し、オランダ最大の食肉関連企業 Vion 社で肉豚の加工、流通について研修を行いました。

Vion 社は加工と販売を一括して行っている企業です。世界の食肉企業の中で100位以内に入る規模で、オランダとドイツに25の食肉加工施設を持ち、約12,000人の従業員が働いています。1週間あたりのと畜頭数は、豚で298,000頭、牛で17,500頭、食肉の流通では61,000トンを販売しているとのことでした。

Vion 社の方と名刺交換をさせていただきましたが、日本語で書かれている名刺を頂戴しました。古い歴史の中で日本にも大きな影響を与えてきたオランダ。オランダの精神を感じる一面でした。

オランダには家畜市場という仕組みがないため、生産者は直接 Vion 社のような食肉加工販売企業へ肉豚を販売します。買取価格は国が決定しており、他に食肉加工販売会社が独自に社内基準に応じボーナスを加算して、最終枝肉価格となります。



▲解体工程中の豚の間をくぐる研修団

日本向けの加工ラインもありました。輸出先に併せて部位の大きさや取り除く部分を細かく調整しているそうです。日本では「風車豚」というブランド名で販売されています。オランダらしい名前です。

日本のように市場により価格が決定されるのではなく、基本的に国が価格を決めていくこのスタイルは、生産者にとってのセーフティネットとなっており、国が生産費を加味して販売価格をコントロールしています。これは、日本のマルキンとはまた違った価格安定政策でした。

今回は、ワクチンフリーの養豚農家の飼養現場の研修と、認証制度について研修した内容をお送りします。



▲Vion 社での集合写真

農家から出荷された豚は、待機場のカゴに集められ、ガス室前まで運ばれます。この仕組みは、観覧車式立体駐車場と同じで、カゴごと炭酸ガス濃度が高い下層部へ運ばれていきます。

一定時間が経過すると、後方から失神した豚が排出されます。放血を経て、バーナーで外皮を焼き、冷却してから内臓が取り出されます。枝肉になる過程において、国の職員が目視検査を行っていました。

アニマルウェルフェアの関係かオスは去勢されず屠畜されていました。日本の食文化と異なり、香辛料を多用してソーセージなどに使うことが多いことも要因の一つなのかもしれません。

と場内は視察用通路がなく、左右解体行程中の豚とその内臓の中を、吊り下げられた豚の間をくぐって歩くというものでした。貴重な体験をさせていただきました。



▲加工処理工程に流れていく豚肉



▲日本向けの加工ライン



みんなで行こう！ケイバ！南関東4競馬場開催日程

地方競馬の収益金は畜産の振興に役立っています

詳しくは南関東4競馬場サイト：<http://www.nankankeiba.com/index.html> をご覧ください

◆BAOO高崎

群馬県高崎市岩押町 12-16
お問合せ：027-322-5192



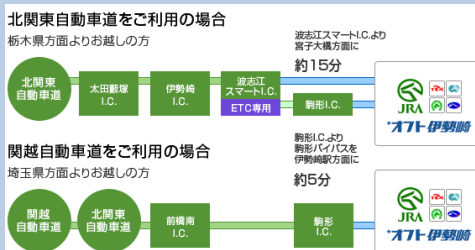
ロイヤル席
個別モニター付き特別
観覧席で快適な一日を
お過ごしいただけます

◆オフト伊勢崎

群馬県伊勢崎市宮子町 3074
伊勢崎オートレース場
グリーンスタンド4階
お問合せ：0270-23-0535



平日、大井、川崎、
船橋、浦和の馬券が
購入できます



【開催日程】

👉 ナイター 🏠 薄暮開催

2022年 8月																															
1 月	2 火	3 水	4 木	5 金	6 土	7 日	8 月	9 火	10 水	11 木	12 金	13 土	14 日	15 月	16 火	17 水	18 木	19 金	20 土	21 日	22 月	23 火	24 水	25 木	26 金	27 土	28 日	29 月	30 火	31 水	
 川崎	 川崎	 川崎	 川崎	 川崎			 浦和	 浦和	 浦和	 浦和	 浦和		 大井	 大井	 大井	 大井	 船橋	 船橋			 船橋	 船橋	 船橋	 川崎	 川崎		 川崎	 川崎	 浦和	 浦和	
																 大井	 大井														
2022年 9月																															
1 木	2 金	3 土	4 日	5 月	6 火	7 水	8 木	9 金	10 土	11 日	12 月	13 火	14 水	15 木	16 金	17 土	18 日	19 月	20 火	21 水	22 木	23 金	24 土	25 日	26 月	27 火	28 水	29 木	30 金		
 浦和	 浦和			 大井	 大井	 大井	 大井	 大井			 川崎	 川崎	 川崎	 川崎	 川崎		 大井	 大井	 浦和	 浦和	 浦和	 浦和			 船橋	 船橋	 船橋	 船橋	 船橋		
																				 大井		 大井	 大井								
2022年 10月																															
1 土	2 日	3 月	4 火	5 水	6 木	7 金	8 土	9 日	10 月	11 火	12 水	13 木	14 金	15 土	16 日	17 月	18 火	19 水	20 木	21 金	22 土	23 日	24 月	25 火	26 水	27 木	28 金	29 土	30 日	31 月	
		 大井	 大井	 大井	 大井	 大井			 川崎	 川崎	 川崎	 川崎	 川崎			 浦和	 浦和	 浦和	 浦和	 浦和			 船橋	 船橋	 船橋	 船橋	 船橋			 大井	

編集後記

今号も「群馬の畜産・みんなの情報室」をお読みいただきありがとうございます。
もうすぐお盆ですね。皆様はどのように過ごされる予定でしょうか。旅行や帰省を計画している方も
多いと思われますが、新型コロナウイルス感染症の全国感染者数が毎日最高値を更新するような状況ではありますので、暑さ対策と感染対策を行いながら、安全にお過ごしいただければと思います。
さて、今号の記事にもありますが、10月に鹿児島県で開催される第12回全国和牛能力共進会の本県代表牛が決定しました。肥育牛の出品者も近日中に決定されます。過去の課題を踏まえて、数多くの出品対策を進めてきました。前回より少しでも良い結果になることを期待しておりますので、応援よろしくお願い致します。